

授業科目(ナンバリング)	コア語 I B (A0118)			担当教員	※宋 映沃		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本科目は、「コア語での基礎的なコミュニケーション能力の向上」及び「韓国文化の理解」を授業の目標とする。ハングル文字を読む、書く、簡単な日常会話が話せるなど、コア語での基礎を確認した上、様々な視聴覚資料を用い、実用的会話能力を向上させる。							②⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	ハングル文字を正しく理解し、読み書きができる。				定期試験	70%	
協働・課題解決力	コア語や韓国文化の興味のある分野についてグループで調べ、意欲的に取り組むことができる。				授業態度・授業への参加度	10%	
多様性理解力	興味のある韓国文化について発表することができる。				プレゼンテーション	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>◎定期試験（穴埋め式、リスニング、筆記式等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハングル文字の仕組みや構造を理解し、読み書きができるかを評価</li> <li>・日常会話の表現をどれだけ身につけたかを評価</li> </ul> <p>◎プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に沿って個人やグループごとに発表を行う。（フィードバックは、授業中に適宜行う。）</li> </ul>							
授業の概要							
<p>韓国語は日本語と文法が似ているため、馴染みやすい。文の構造を把握し、徐々に韓国語の表現の幅を広げて行く。また「韓国文化へのアプローチ」をテーマとし、授業中は韓国関連のDVD・スライド等も随時使い、モチベーション向上につなげる。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：新装版 「できる韓国語 初級」 著/新大久保語学院 李志暎</p> <p>参考書：できる韓国語 初級/ワークブック、できる韓国語 I・II 会話トレーニング</p> <p>指定図書：新装版 「できる韓国語 初級」 著/新大久保語学院 李志暎</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>ハングルという未知なる世界との知的な遭遇に必要なのは「チャレンジ精神」のみである。受け身的な態度ではなく、積極的な姿勢が求められる。常に、韓国や韓国の文化に興味を持ち、自分なりにスクラップや重要な部分をチェックしておくことが大事である。理解の難しい事項やもっと知りたいことがあれば、気軽に教員に声をかけていただきたい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	基本母音の復習	前期に習った基本母音の文字と発音の復習行う。	基本母音の文字を書き、発音を復習すること。次回の基本子音を読む。
2	基本子音の復習	前期に習った基本子音の文字と発音の復習行う。	基本子音の文字を書き、発音を復習すること。次回のバッチムを読む。
3	バッチムの復習	バッチムの構成と発音の練習を行う。	バッチムの構成と発音を復習すること。次回の文章の構造を読む。
4	文章の構造	ハングルの主語の助詞、名詞の後に付く述語などを学習する。	授業で習った会話文を復習し、次回の会話文をノートに書くこと。
5	挨拶	日常で活用する挨拶のパターンを覚え、繰り返し練習する	授業で習った挨拶文を復習し、次回の会話文をノートに書くこと。
6	指示代名詞	ハングルの指示代名詞や疑問形の作り方について学ぶ。	授業で習った会話文を復習し、次回の会話文をノートに書くこと。
7	韓国の文化1	韓国の文化を楽しもうー1	韓国の若者文化に触れながら、ハングルの発音を復習する。
8	時間表現1	ハングルの時間表現を学んだ後、会話の否定形などをしっかりと身につけるように学習し、練習する。	授業で習った会話文を復習し、全体の部分をもう1度学習する。
9	時間表現2	会話の否定形を応用し、様々な場面で活用できるよう練習する。	授業で習った内容を復習し、小テストに備える。
10	電話での約束	「～ができない」の不可能の表現や意思形をマスターする。特に、不可能形は2通りの表現があるのでそれらに注意しよう。	授業で習った会話文を復習し、次回の会話文をノートに書くこと。
11	韓国の文化2	韓国の文化を楽しもうー2	韓国人の日常生活が窺える映画を用い、日常会話を復習する。
12	電話での約束	「～ができない」の不可能の表現や意思形をマスターする。特に、不可能形は2通りの表現があるのでそれらに注意しよう。	授業で習った会話文を復習し、次回の会話文をノートに書くこと。
13	趣味	ここから、本格的な動詞編に入るためにしっかり活用形を理解する必要がある。完璧に理解するまで、こまかく指導する。	授業で習った会話文を復習し、次回の会話文をノートに書くこと。
14	韓国の文化3	韓国の文化を楽しもうー3	韓国の若者文化が窺える資料を用い、理解する。
15	ホームシック	「原因・理由の表現」、「目的の表現」を中心に会話文を理解する。	授業で習った会話文を復習し、次回の会話文をノートに書くこと。
16	定期試験	定期試験を実施する。	今まで習った内容をレビューし、定期試験に備えること。

授業科目(ナンバリング)	コリア語 I B (AC118)			担当教員	※金 允妍 (キム テヨン)		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本授業では韓国語のコミュニケーション能力を高めるための基礎を築く。入門のクラスであるため、韓国語の文字、語彙、文法を中心に授業を行う。言語は人が住む社会や文化と深く関わっているため、互いの異なる言語や文化にも触れるようになり、異文化に関する理解を深めることもできる。							①⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	韓国語や文化についての知識を持っている。				・ 中間試験 ・ 定期試験	10% 15%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	簡単な韓国語の表現を使用して会話をすることができる。 学習した内容を応用して新しい文を作り出すことができる。				・ 中間試験 ・ 定期試験	10% 25%	
協働・課題解決力	グループメンバーと協力して、授業中に与えられた課題を果たすことができる。				・ 授業への参加 (取り組み)	10%	
多様性理解力	ハングル文字を正しく読み書きすることができる。 韓国語や韓国文化理解に積極的に取り組み、授業内外でコミュニケーション能力を高めることができる。				・ 授業態度 ・ 中間試験 ・ 定期試験	10% 10% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価は、定期試験の結果 50%、中間試験の結果 30%、授業態度・授業への参加を 20%とする。</li> <li>・ 8 回目の授業で中間試験を行う。</li> <li>・ 中間試験、定期試験では筆記試験で文字、語彙、文法、コミュニケーション能力などの理解を総合的に評価する。</li> <li>・ 中間試験の結果については後日の授業で説明を行う。</li> </ul>							
授業の概要							
<p>本授業は入門クラスで、ハングル文字の読み書き、発音の練習、基礎語彙、基礎文法を総合的に行う。毎回の授業は教科書の内容に従って進める。1年間(30回)の授業を通じて1冊の教科書をマスターすることを目標にして韓国語における基礎知識を固める。</p> <p>標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：金殷模・権來順・宋貞熹・文慶喆 著 「かんたん韓国語」 朝日出版社</p> <p>参考書：特になし</p> <p>指定図書：任榮哲・井出理咲子 著 『箸とチョッカラク』 大修館書店</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業時間だけの学びではなく、常に韓国に興味をもち、自ら学ぼうとする姿勢をつけてもらいたい。</li> <li>・ 授業中におけるペアー・グループでの発音練習と会話練習に積極的に参加すること</li> <li>・ 学習を効果的なものにするため、教科書、ノート、筆記用具を忘れずに持参し、活用すること</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス 前期授業のまとめ	シラバスを基に本授業に対する内容の説明を行う。 前期授業のまとめを行う。	シラバスを読み授業内容を理解する。前期の授業内容の振り返り
2	第8課 何をしますか。	用語の丁寧な言い方について学ぶ。	予習:本文を声に出して読んで、予習する。復習:動詞を丁寧な言い方に変える。
3	第9課 朝ごはんは食べません。	用語の否定形について学ぶ。 「曜日」を覚える。	予習:韓国語の曜日を調べ覚える。復習:用言を否定形にする練習をする。
4	第10課 どこに住んでいますか。	用語の「～요」体について学ぶ。	予習:新しい単語を覚える。復習:様々な用言を「～요」体に変えてみる。
5	第11課 今日、忙しいですか。	ㄴ不規則用語の「～요」体、 ㄹ不規則用語の「～요」体について学ぶ。 「季節」を覚える。	予習:韓国語の「季節」を調べて覚える。復習:不規則用言を練習する。
6	第12課 先生でしたか。	名詞文の過去表現について学ぶ。	予習:本文を読んで会話練習をする。復習:学んだ表現を暗記する。
7	第13課 何をしましたか	「하다」用語とその否定文の過去表現について学ぶ。	予習:本文を音読する。復習:韓国語の友達に週末何をしたかを質問して会話を続けてみる。
8	前半のまとめ 中間試験	筆記試験を実施する。	中間試験の準備
9	第14課 ご飯食べましたか。	用語の過去を表す「～았~/～였～」について学ぶ。	予習:本文を読んで過去形の規則について考えてみる。復習:様々な用言を過去形にしてみる。
10	第15課 何をしたいですか。	願望を表す表現について学ぶ。	予習:本文を参考に自分の願望韓国語でたくさん書く。復習:新しい語彙を覚える。
11	第16課 安くて美味しいです。	羅列の表現について学ぶ。	予習:本文の答えの部分をも自分の意見に変えてみる。復習:例文を書いてみる。
12	第17課 映画見に行きませんか。	～(으)니까요? (～(시)ましょうか)について学ぶ。	予習:友達を誘う文を書いてみる。復習:教科書に会話練習を覚える。
13	第18課 何をなさいますか。	尊敬を表す表現について学ぶ。	予習:日本語と韓国語の敬語を比較してみる。復習:目上の人に対する会話を韓国語で表現してみる。
14	第19課 コーヒーを飲みます。	意志を表す表現について学ぶ。	予習:単語を覚える。復習:韓国人に自分の意思を伝えるように練習をする。
15	第20課 何を予定ですか。	計画を表す表現について学ぶ。	予習:明日の予定を文で書いてみる。復習:会話練習をする。
16	定期試験	筆記試験を実施する。	定期試験の準備

授業科目(ナンバリング)	コリア語 I B (A0118)			担当教員	※権 容善		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本科目は、韓国語の文法と会話、また、文化について理解することを授業の目標とする。具体的には、すでに学んだ韓国語の基礎に加え、文章の仕組みや構造を学び、読み書きと簡単な会話ができるようになる。							②⑥⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	・ハングルを読む、書くことができる。				小テスト 定期試験		10% 10%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	・ハングルを使用した簡単コミュニケーションをことができる ・簡単な日常会話をペアで行うことができる。				定期試験 小テスト 授業態度		30% 10% 10%
協働・課題解決力							
多様性理解力	韓国の文化を理解することができる。				課題レポート 定期試験		20% 10%
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験（50％）では、ハングルの読み書きができるかを確認し、文章の構成と意味についての理解できているかを確認する。小テスト（20％）は、2 回の筆記式（10％）、1 回の会話（10％）で評価を行う。授業態度（10％）は、授業の積極性および出席状況などで確認する。課題レポートは、韓国の文化について調べて、発表することで評価をするが、具体的な課題については、授業中に説明を行う。課題レポートについては、必要に応じて、授業内でコメント及びフィードバックを行う。なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等）は、発覚した場合に減点の対象となる。							
授業の概要							
韓国語は日本語と文法が似ているため、馴染みやすい。韓国語の文書の構造を把握し、韓国語の表現の幅を広げて行く。また「韓国文化へのアプローチ」をテーマとし、授業中は韓国関連のDVD・スライド等も随時使い、モチベーション向上につなげる。この授業は、韓国語の文字の基本的な読み方を学習していることを前提とする。なお、この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：新装版 「できる韓国語 初級」 著/新大久保語学院 李 志暎 参考書：できる韓国語 初級/ワークブック、できる韓国語 I・II 会話トレーニング 指定図書：新装版 「できる韓国語 初級」 著/新大久保語学院 李 志暎							
授業外における学修及び学生に期待すること							
韓国語の授業では、積極的な姿勢が求められる。今まで、触れたことがない方が多いと予測されるが、積極的に取り組めば、本授業を通して、韓国語や韓国文化に興味を持つことが大事である。理解の難しい事項については、気軽に教員に声をかけていただきたい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	文字の復習	前期に習った基本母音、子音の文字と発音の復習行い、また、前期に学習した、文章を練習する。	基本母音の文字を書き、発音を復習すること。次回の基本子音を読む。
2	バッチムの復習	・バッチムの構成と発音の練習を行う。 ・第3課 그건 뭐예요?①	バッチムの構成と発音を復習すること。次回の文章の構造を読む。 教 pp. 20-21、pp. 50-52
3	指示代名詞について	第3課 그건 뭐예요?② (이것, 저것, 그것등)	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 20-23、pp. 53-55 復：授業内容を確認する。
4	質疑応答① および動詞の練習	第4課 약속이 있습니까? ① (~습니다. 니다.)	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 56-58 復：授業内容を確認する。
5	質疑応答② および動詞の練習	第4課 약속이 있습니까? ②	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 59-60 復：授業内容を確認する。
6	家族関係および 位置名詞①	家族関係について知る。 第5課 회사는 어디에 있어요?①	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 61-65 復：授業内容を確認する。
7	小テストおよび 韓国の文化 1	小テストを行った後、韓国の文化を楽しもうー1	予：授業範囲を読んでくる。 復：授業内容を確認する。
8	位置名詞②	第5課 회사는 어디에 있어요?②	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 66-67 復：授業内容を確認する。
9	多様な動詞	様々動詞に触れる	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 73 復：授業内容を確認する。
10	連携語について (して、してから)	第6課 주말에는 뭐 합니까?①	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 68-70 復：授業内容を確認する。
11	否定動詞の活用	第6課 주말에는 뭐 합니까? ②	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 71-73 復：授業内容を確認する。
12	動詞の活用①	第7課 그렇게 멀지 않습니다.	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 74-76 復：授業内容を確認する。
13	漢字語数詞	第8課 언제 갑니까?①	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 80-84 復：授業内容を確認する。
14	動詞の活用②	第9課 부산까지 어떻게 가요? 아/어요②	予：授業範囲を読んでくる。教 pp. 86-93 復：授業内容を確認する。
15	小テストおよび 時間表現	小テスト：グループ発表 会話の否定形を応用し、様々な場面で活用できるよう練習する。	予：授業範囲を読んでくる。 復：授業内容を確認する。
16	定期試験	定期試験を実施する。	今まで習った内容をレビューし、定期試験に備えること。